

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教:国語 科目 言語文化

教科: 国語

科目: 言語文化

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 N 組

教科担当者: (N組: 赤塚、清水)

使用教科書: (104数研 言文709 新編 言語文化 (数研出版))

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め

科目 言語文化

の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|-------------|--|--|-----|---|---|---|---|---|---|----------|----|
| | | | 話・聞 | 書 | 読 | | | | | | |
| 1 学 期 | 詩歌を味わう/短歌、俳句 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・表現の技法 ・構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈 | | ○ | ○ | 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、粘り強く課題作成に取り組もうとしている。 | | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | | 1 |
| | 受け継がれる古典/羅生門 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・文や文章 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈 | | ○ | ○ | 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。 | | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | | 1 | |
| 2 学 期 | 古文の世界を楽しむ/児のそら寝(宇治拾遺物語) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・伝統的な言語文化 ・言葉の由来や変化、多様性 ・精査・解釈 ・考えの形成、共有 | | ○ | ○ | 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。 | | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | | 1 |
| | 先人を思う旅/平泉(おくのほそ道) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓 | ・伝統的な言語文化 ・言葉の由来や変化、多様性 ・精査・解釈 ・考えの形成、共有 | | | | 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|--|--|--|---|---|---|----|
| | <p>読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> | | | | <p>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って身近な文学記念碑について調査をしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学 期 | <p>「故事と成語」(ズームアップ 故事成語の用例を探そう)</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化 ・言葉の由来や変化、多様性 ・精査・解釈 ・考えの形成、共有 | | | <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | 78 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 N組

教科担当者：(N組：石塚 幸雄)

使用教科書：(高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる 第一学習社、最新地図帳 東京書籍)

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界の文化や歴史を知り、グローバル化された世界の中で生きていく知識や能力を身に着ける

【思考力、判断力、表現力等】獲得した知識や知見を現実社会で生かし、自分の頭で考え判断し行動できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】世界の諸問題を自分自身の問題としてとらえ、戦争や貧困などの今日的課題について考え行動できる姿勢を養う

科目 地理総合 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 世界の文化や人々の生活を知り、自分の将来の生きる知恵となる知識や考え方を獲得する | 獲得した地理的な思考を働かせて、様々な事象や問題を分析・考察できる能力を養う | 世界や社会の一員として環境問題や防災などの今日的課題の解決に向けて積極的に行動する姿勢を身に着ける |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 担当 時数 |
|---------|---|---|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学期 | A 単元: 球面上の世界と地図 【知識及び技能】地図の読み方や使い方を 知る 【思考力、判断力、表現力等】地図と 様々な情報を関連付ける能力を養う 【学びに向かう力、人間性等】地理的な 見方や考え方を身に着ける | ・指導事項 自己理解に向け作業プ リントで動機付けをする ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚 教材 | 【知識・技能】スマホナビで地図情報を活用できる ようになる 【思考・判断・表現】ハザードマップなど地図の利 用法を知っている 【主体的に学習に取り組む態度】自己の生きる地 域や生活に地図を活用できるよう取り組んでいる | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | 知識の定着度・達成度を測定する | 考査の点数 | | | | 1 |
| | B 単元: 国際理解と国際協力 【知識及び技能】世界の各地域の生活 の衣食住や文化の違いやその特性を 知る 【思考力、判断力、表現力等】様々な文 化や生活を比較考察する思考力を養う 【学びに向かう力、人間性等】多文化に 対し尊重できる姿勢を養う | ・指導事項 自己理解に向け作業プ リントで動機付けをする ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚 教材 | 【知識・技能】諸地域の文化やその成立意義を理 解する 【思考・判断・表現】未知の異文化に適応できる能 力がある 【主体的に学習に取り組む態度】自国の伝統を受 け継ぐと共に諸地域の異文化を尊重することがで きる | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 定期考査 | 知識の定着度・達成度を測定する | 考査の点数 | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学期 | C 単元: 自然と調和した豊かな社会に 向けて 【知識及び技能】資源・エネルギーや環 境問題の現在の状況を知る 【思考力、判断力、表現力等】具体的 問題について理解・考察力を養う 【学びに向かう力、人間性等】日常生 活との関りの中で行動する力を養う | ・指導事項 日常生活から問題に触 れさせる ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚 教材 | 【知識・技能】国際的課題は身近な生活に直結し ていることを知る 【思考・判断・表現】グローバルな課題に理解がで きている 【主体的に学習に取り組む態度】生活者の観点か ら問題解決に向け前向きに取り組んでいる | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | 知識の定着度・達成度を測定する | 考査の点数 | ○ | ○ | | 1 |
| | D 単元: 平和で公正な社会に向けて 【知識及び技能】世界の貧困・民族問 題などの現状を知る 【思考力、判断力、表現力等】様々な考 え方を比較考察する思考力を養う 【学びに向かう力、人間性等】他者や社 会に対する関わり方を判断できる | ・指導事項 図書館を使い重要語句 を調べさせる ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚 教材 | 【知識・技能】近年起こっている様々な国際問題を 知っている 【思考・判断・表現】グローバルなものの考え方を 自分の思考に取りこもうとする 【主体的に学習に取り組む態度】外国の人権や規 範を尊重しようとする | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 定期考査 | 知識の定着度・達成度を測定する | 考査の点数 | ○ | ○ | | 1 | |
| | E 単元: 持続可能な地域づくりと私たち 【知識及び技能】災害の原因を学び、 減災や災害への備えを知る 【思考力、判断力、表現力等】避難や救 助など困難な状況下で行動できる力を養う | ・指導事項 タブレットを使い実際の 災害映像などをみて問題点を検証さ せる ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚 教材 | 【知識・技能】防災は身近な生活に直結しているこ とを理解できる 【思考・判断・表現】減災や避難、救助方法など理 解ができています | ○ | ○ | ○ | 10 |

| | | | | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|--|---|---|---|----|
| 3 学 期 | 【学びに向かう力、人間性等】得た知識や知見を日常生活に生かす態度を養う | | 【主体的に学習に取り組む態度】日常生活に防災感覚を取り入れて生活しようとする | | | | |
| | F 単元: 生活圏の調査と地域の展望 | ・指導事項 作業プリントや映像教材で理解を深め作業活動を行う | 【知識・技能】行政や地方自治の知識を自己の将来の参政権に活用できる | | | | |
| | 【知識及び技能】学校の位置する葛飾区を主題に地域への理解を深める | ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材 | 【思考・判断・表現】自ら考え社会参画できる判断力がある | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 【思考力、判断力、表現力等】葛飾区を知り、地域調査の方法を学ぶ | | 【主体的に学習に取り組む態度】住民相互の活動に市民として主体的参加ができる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】地域の将来に主体的にかかわる姿勢を養う | | | | | | | |
| 定期考査 | 知識の定着度・達成度を測定する | 考査の点数 | ○ | ○ | | 1 | |
| | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | 78 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教:数学 科目 数学 I

教科: 数学 科目: 数学 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 N 組

教科担当者: (N組: 山本宗一, 高野雄二)

使用教科書: (数 I 708 実教出版株式会社 高校数学 I)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 思 態 | | | 配当 時数 |
|-------------|--|---|---|-------|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。 | 2節 2次関数の値の変化 3. 2次関数のグラフと2次不等式 3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 | <ul style="list-style-type: none"> 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、グラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 2次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない2次式について、2次方程式の解の公式を利用して考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) $D=b^2-4ac$の符号を用いると、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式の関係がまとめられることに興味をもち、Dの式を用いてグラフと共有点の個数を考えようとしている。 (授業態度・課題提出) サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 (授業態度・課題提出) | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解する。 | 3章 三角比 1節 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 | <ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係について理解できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。 (授業態度・課題提出) 三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 鋭角の三角比を理解できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教:保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 N 組

教科担当者: (N組: 佐藤・井上)

使用教科書: (現代高等保健体育 50大修館 保体701)

教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動を通して各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わ得るようにする。 | 多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるができるようになるために、「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるようになる。 | 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする事ができるようにする。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 時 数 |
|-------------|---|--------------------------|---|---|---|---|-------------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | A 体づくり運動 【知識及び技能】 運動を行うための体力を高める方法を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることを学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。 | ・オリエンテーション ・体ほぐし運動 | 【知識・技能】 体力の構成要素として筋力・瞬発力・持久力・調整力・柔軟性があり、それらを理解している。 【思考・判断・表現】 仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | B 球技種目 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。 | ・ソフトボール ・バレーボール | 【知識・技能】 ・ソフトボール: 送球 捕球 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| 2 学 期 | B 球技種目 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。 | ・バスケットボール ・バドミントン | 【知識・技能】 ドリブル パス シュート 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | | | 【知識・技能】 サーブ ヘアピン ハイクリアー スマッシュ 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 3 学 期 | B 球技種目 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。 | ・サッカー | 【知識・技能】 パス ドリブル シュート 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | C 持久走 【知識及び技能】 目標タイムを達成するペース配分を自己の体力に合わせて設定し、維持して走るようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。 | ・シャトルラン ・縄跳び | 【知識・技能】 ・自己で設定した目標タイムを超えることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | | | | | | | 合計 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教科保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 N組

教科担当者：（N組：佐藤）

使用教科書：（「現代高等保健体育」（50 大修館 保体701））

教科 保健

の目標：

- 【知識及び技能】個人及び社会生活における、健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に置に応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

科目 保健

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|--|
| 安全な社会生活について理解している。 ・安全な社会づくり ・応急手当 生涯を通じる健康について理解している。 ・生涯の各段階における健康 ・労働と健康 | 安全な社会生活及び生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 | 安全な社会生活及び生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 | |
|-------------|--|--|--|---|---|---|------------------|----|
| | | | | | | | | |
| 1 学 期 | 単元「安全な社会づくり」 事故は、地域、職場、家庭、学校などさまざまな場面において発生していることを理解できるようにする。 | 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 | 事故の実態と被害の実態について説明できる。 安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 | ○ | ○ | ○ | 7 | |
| | 単元「応急手当」 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりできることを理解できるようにする。日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順が定期考査 | 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 | 応急手当の意義について説明できる。 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。 実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 | ○ | ○ | ○ | 6 | |
| 2 学 期 | 単元「生涯の各段階における健康」 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。また、これらの変化に対して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であることや性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。結婚生活において、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産に伴う健康課題について理解できるようにする。 | ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康 | ライフステージと健康の関連について説明できる。 思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 性意識の男女差について例をあげて説明できる。 性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 | ○ | ○ | ○ | 16 | |
| | 定期考査 | | | | | | 1 | |
| 3 学 期 | 単元「労働と健康」 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする。 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。 | 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活 | 働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる。 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 職場がおこなう健康に関わる取り組みについて例をあげて説明できる。 余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 | ○ | ○ | ○ | 7 | |
| | 定期考査 | | | | | | 1 | |
| | | | | | | | 合計 | 39 |

東京都立農産高等学校 令和5年度(2学年用) 教科外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーション I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 N 組

教科担当者: (N組: 佐々木友子 清水三重子 Geoffrey Brown)

使用教科書: (開隆堂 CI704 Amity English Communication I)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】場面に応じて、話してや書き手の意図を的確に理解する。

【学びに向かう力、人間性等】背景の文化への理解を深め、自立的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 音声、語、熟語、文構造、文法を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に着ける。 | コミュニケーションを行う目的や状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、日常的な話題や社会的な問題について英語で話したり書いたりして、情報や考えを伝え合う。 | 背景の文化への理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|------------------|-----------------------|---|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 〔 や 〕 | 話 〔 発 〕 書 | | | | | |
| Lesson 5 Part 1 【知識及び技能】動名詞を理解し、聞き読み書く話す技能をみに着ける。 【思考力、判断力、表現力等】何をするのが好きか、基本的な語句を用いている。 【学びに向かう力、人間性等】動名詞の例文を自分で作り、話すことが出来る。 | 指導事項 ①1学期授業開き ②Lesson 5 の新出単語とPHONIX ③英文の発音と読みの練習。主語述語、文構造の把握。TF Question ④一般動詞の過去形を理解させる。英問英答 暗唱 ・教材 教科書 自作プリント 一人一台端末を使用 | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】外来語、英語になっている日本語をつくことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】AETに対し、発問できる。 【学びに向かう力、人間性等】間違いを恐れず、発言したり、質問できる。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| Lesson 5 Part 2 【知識及び技能】動名詞を理解し、聞き読み書く話す技能をみに着ける。 【思考力、判断力、表現力等】何をするのが好きか、基本的な語句を用いている。 【学びに向かう力、人間性等】動名詞の例文を自分で作り、話すことが出来る。 | 指導事項 ①1学期授業開き ②Lesson 5 の新出単語とPHONIX ③英文の発音と読みの練習。主語述語、文構造の把握。TF Question ④動名詞の過去形を理解させる。英問英答 暗唱 ・教材 教科書 自作プリント 一人一台端末を使用 | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】単語や語句、動名詞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句を用いている。 【学びに向かう力、人間性等】相手にわかってもらえように、基本的な語句を用いて、伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 返却 | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | 2 |
| Lesson 6 Part 1 【知識及び技能】比較を理解し、聞き読み書く話す技能をみに着ける。 【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句を用いている。 【学びに向かう力、人間性等】比較表現の例文を自分で作り、話すことが出来る。 | 指導事項 ①Lesson 6 part1 の新出単語とPHONIX ②英文の発音と読みの練習。主語述語、文構造の把握。TF Question ③ 比較表現を理解させる。英問英答 暗唱・教材 教科書 自作プリント | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】単語や語句、比較表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句や表現を用いている。 【学びに向かう力、人間性等】自分で英文を作るなど主体的な姿勢があり、相手にわかってもらえように、基本的な語句を用いて、伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| Lesson 6 part 2 【知識及び技能】 Lesson1で学んだことを復習して定着させる。 【思考力、判断力、表現力等】比較の入った文を聞いて、その表現を応用して、英文文法させる。 【学びに向かう力、人間性等】試験に向けて主体的に勉強する力を身に着ける。 | 指導事項 ①Lesson 6 part 2 の新出単語とPHONIX ②英文の発音と読みの練習。主語述語、文構造の把握。TF Question ③ 比較表現を理解させる。英問英答 暗唱 ④テスト対策 ファイルチェック ・教材 教科書 自作プリント | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】単語や語句、比較表現を理解し、復習する。 【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句や表現を用いている。 【学びに向かう力、人間性等】自分で試験勉強をする主体的な姿勢がある。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 答案返却 | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | 2 |

1
学
期

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教科国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 N組

教科担当者：(N組：清水)

使用教科書：(104数研 言文709 新編 言語文化 (数研出版))

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め

科目 発展国語 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|--|--|--|---|--|---|--|---|----------|
| | | 話 | 書 | 読 | | | | | |
| 「ことば」を吟味する/舟を編む 【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・表現の技法 ・構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈 | ○ | ○ | | 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。また、「書くこと」において、それを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | | 「ことば」を吟味する/舟を編む 【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・表現の技法 ・構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈 | ○ | ○ | | 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。また、「書くこと」において、それを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。 | ○ | ○ |
| 「ことば」を吟味する/舟を編む 【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・表現の技法 ・構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈 | ○ | ○ | | 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。また、「書くこと」において、それを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|--|--|--|---|---|---|----|
| 2 学 期 | <p>昔と変わらない人の心/筒井筒（伊勢物語）</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化 ・言葉の由来や変化、多様性 ・精査・解釈 ・考えの形成、共有 | | | <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や状況について積極的に自分と引きつけて捉えようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 3 学 期 | <p>「日本語の中に生きる漢文」（ズームアップ 漢文由来の名付け）</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化 ・言葉の由来や変化、多様性 ・精査・解釈 ・考えの形成、共有 | | | <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | 39 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教:数学 科目 発展数学

教科: 数学 科目: 発展数学 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 N 組

教科担当者: (N組: 山本宗一)

使用教科書: (数 I 708 実教出版株式会社 高校数学 I)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 発展数学 の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| (1) 数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| 1 学 期 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。 | 3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 | ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) ・直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) ・直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとするしている。 (授業態度・課題提出) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | ○ | ○ | | 1 |
| ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解する。 | 4. 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 | ・三角比の相互関係について理解できる。 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鋭角の三角比を理解できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) ・三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | ○ | ○ | | 1 |

東京都立農産高等学校令和5年度（2学年用）教科 理科 科目 発展化学

教科：理科 科目：発展化学 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 N組

教科担当者：(N組) 外山 秋沙)

使用教科書：(2東書 化基702 東京書籍「新編 化学基礎」)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 発展化学 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--------------------------|------------------------------------|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 | 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 | 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|---|---------------------------|---|---|---|---|------------------|
| 1 学 期 | 1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 【知識及び技能】 化学の特徴について、日常生活や社会と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物質について、観察、実験などを通して探究し、化学の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 身のまわりのさまざまな化学 | 【知識・技能】 化学の特徴について、日常生活や社会と関連付けて理解しているとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物質について、観察、実験などを通して探究し、微生物とその利用の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 1編 化学と人間生活 2章 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 化学と人間生活について、物質の分離・精製・単体と化合物、熱運動と物質の三態を理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 物質の成分 物質の構成元素 物質の三態 | 【知識・技能】 化学と人間生活について、物質の分離・精製・単体と化合物、熱運動と物質の三態を理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質や元素に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 原子の構造 電子配置と周期表 | 【知識・技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構成粒子に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|---|---|
| 2 学 期 | 2編 物質の構成 2章 化学結合 【知識及び技能】 物質と化学結合についての観察、実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 化学結合と物質の分類 | 【知識・技能】 物質と化学結合についての観察、実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学結合に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 【知識及び技能】 物質と化学反応式について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応の表し方 化学反応式の表す量的関係 | 【知識・技能】 物質と化学反応式について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 3編 物質の変化 2章 酸と塩基 【知識及び技能】 化学反応について、酸・塩基と中和を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定 | 【知識・技能】 化学反応について、酸・塩基と中和を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基と中和に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 3編 物質の変化 3章 酸化還元反応 【知識及び技能】 化学反応について、酸化と還元を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の応用 | 【知識・技能】 化学反応について、酸化と還元を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸化と還元を主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | 3編 物質の変化 終章 化学が拓く世界 【知識及び技能】 化学が拓く世界について、学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 | 身のまわりの化学 | 【知識・技能】 化学が拓く世界について、学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験 | | | | |

| | | | | | | | |
|---------|--|--|---|---|---|---|----|
| 3 学期 | <p>【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> | <p>などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の変化とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 | |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 合計 | | | | | | | |
| | | | | | | | 39 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教:外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーション I 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 N 組

教科担当者: (N組: 佐々木友子)

使用教科書: (開隆堂 CI704 Amity English Communication I)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】場面に応じて、話してや書き手の意図を的確に理解する。

【学びに向かう力、人間性等】背景の文化への理解を深め、自立的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 音声、語、熟語、文構造、文法を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に着ける。 | コミュニケーションを行う目的や状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、日常的な話題や社会的な問題について英語で話したり書いたりして、情報や考えを伝え合う。 | 背景の文化への理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|------------------|------------------|---|--|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 〔 や 〕 | 話 〔 発 〕 | 書 | | | | | |
| Get Ready 【知識及び技能】カタカナ英語、英語になっている日本語を知る。アルファベットの復習 【思考力、判断力、表現力等】それらの文化的背景を知る。 【学びに向かう力、人間性等】英語の基礎を身に着ける。 | ・指導事項 外来語や英語になっている日本語の例を考えさせる。AETの自己紹介を聞き取って、簡単な日常会話ができるようになる。アルファベットとつづり字の関係を理解させる。(PHONIX)簡単な質問ができるようにする。教材 教科書、自作プリント | ○ | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】外来語、英語になっている日本語をつくることが出来る。【思考力、判断力、表現力等】AETに対し、発問できる。【学びに向かう力、人間性等】間違いを恐れず、発言したり、質問できる。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| Lesson1 part1 導入 【知識及び技能】単語や語句、be動詞の現在形を理解する。【思考力、判断力、表現力等】他者がお気に入り場所を話しているのを聞いて、その概況を伝えさせる。【学びに向かう力、人間性等】世界には素敵な場所があるか話そうと努力する姿勢を育む。 | ・指導事項 PHONIXを使って、英単語の発音ができるようになる。読みの練習。主語述語、文構造の把握。TF Question it, they, these が主語の場合のbe 動詞について例文を用いて理解させる。英問英答 暗唱・教材 教科書 自作プリント 端末を使って、デジタル教科書で写真を見せる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | 【知識及び技能】単語や語句、be動詞の現在形を理解する。【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句を用いている。【学びに向かう力、人間性等】相手にわかってもらえるように、基本的な語句を用いて、伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 返却 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | 2 |
| Lesson1 Part2 【知識及び技能】命令文、一般動詞の現在形を理解し、聞き読み書く話す技能を身に着ける。【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句を用いている。【学びに向かう力、人間性等】命令文の例文を自分で作り、話すことが出来る。 | ・指導事項 前時の復習として、Dictationと英問英答。命令文、一般動詞の現在形を理解し、聞き、読み、書く、話す技能を身に着ける。Key Sentenceの暗唱 ・教材 教科書 自作プリント ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】単語や語句、命令文、be動詞の現在形を理解する。【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句や表現を用いている。【学びに向かう力、人間性等】自分で英文を作るなど主体的な姿勢があり、相手にわかってもらえるように、基本的な語句を用いて、伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| Lesson1 まとめ 【知識及び技能】 Lesson1で学んだことを復習して定着させる。【思考力、判断力、表現力等】be動詞の入った文を聞いて、その表現を応用して、英作文させる。【学びに向かう力、人間性等】試験に向けて主体的に勉強する力を身に着ける。 | ・指導事項 Lesson1のまとめ（語句、英問英答、文法演習様々なbe動詞） Dictation 単語テスト ・自作プリント ・英語の歌（自作プリント）歌を聞いて、既習語をリスニング、ディクテーションできるようにする。歌の文化多岐背景を理解する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】単語や語句、命令文、be動詞の現在形を理解し、復習する。【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所を話している時、基本的な語句や表現を用いている。【学びに向かう力、人間性等】自分で試験勉強をする主体的な姿勢がある。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 答案返却 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | 2 |

東京都立農産高等学校 令和5年度（2学年用） 教:農業 科目 三修制食品製造

教科: 農業 科目: 三修制食品製造 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 N組 三修制を履修する生徒

教科担当者: (N組: 浦崎・大野)

使用教科書: (7実教 農業704 実教出版 食品製造)

教科 農業 の目標: 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続可能な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】農業の各分野について体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び農業の振興を社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 三修制食品製造 の目標: 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 | 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。 | 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---------|--|---|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学期 | 単元① 卵の加工 (7)食品の製造実習エ 畜産物 【知識及び技能】 卵の構造、加工特性について理解するとともに、製造実習の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組む。 | ・座学と実習を隔週で行う。 【座学】 ・卵の構造 ・卵の加工特性 乳化性 熱凝固性 起泡性 【実習】 ・マヨネーズの製造 ・プリン製造 | 【知識・技能】 卵の構造、加工特性について理解しているとともに、製造実習の技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 単元②乳の加工 (7)食品の製造実習エ 畜産物 【知識及び技能】 乳について理解するとともに、製造実習の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組む。 | ・座学と実習を隔週で行う。 【座学】 ・乳の成分 ・乳の分類 ・牛乳の製造 ・発酵乳 【実習】 ・ヨーグルトの製造 ・酸乳飲料の製造 | 【知識・技能】 乳について理解しているとともに、製造実習の技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | 2 |
| 2 学期 | 単元③ 乳の加工 (7)食品の製造実習エ 畜産物 【知識及び技能】 乳について理解するとともに、製造実習の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組む。 | ・座学と実習を隔週で行う。 【座学】 ・乳の加工特性 酸凝固 熱凝固 酵素凝固 ・チーズ 製造方法 種類 【実習】 ・チーズケーキの製造 ・ケーキサレの製造 | 【知識・技能】 乳の加工特性、チーズについて理解しているとともに、製造実習の技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 単元④肉・魚肉の加工 (7)食品の製造実習エ 畜産物 【知識及び技能】 肉・魚肉の加工、燻煙について理解するとともに、製造実習の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組む。 | ・座学と実習を隔週で行う。 【座学】 ・肉の成分 ・肉の加工特性 ・魚肉の加工 ・燻煙 【実習】 ・中華まんじゅうの製造 ・さつまあげの製造 ・ソーセージの製造 | 【知識・技能】 肉・魚肉の加工、燻煙について理解しているとともに、製造実習の技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポートに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | 2 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|--|---|---|---|----|
| 3 学 期 | 単元⑤デコレーションケーキ (7)食品の製造実習 ア穀類 エ 畜産物) 【知識及び技能】 デコレーションケーキについて理 解するとともに、製造実習の技術を 身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 製造実習の課題を発見し、解決策 をレポートに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の加工特性・製造原理に興 味・関心を示し、実習に対して主体 的かつ協働的に取り組む。 定期考査 | ・座学と実習を隔週で行う。 【座学】 ・スポンジ生地の種類 ・シャンティクリーム ・ナッペ・絞り・パイピング ・デザイン 【実習】 ・ジェノワーズの製造 ・デコレーションケーキの製造 | 【知識・技能】 デコレーションケーキについて理解してい るとともに、製造実習の技術を身に付けてい る。 【思考・判断・表現】 製造実習の課題を発見し、解決策をレポー トに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材の加工特性・製造原理に興味・関心を 示し、実習に対して主体的かつ協働的に取り 組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | | | | ○ | | | 2 |
| | | | | | | | 合計 |

